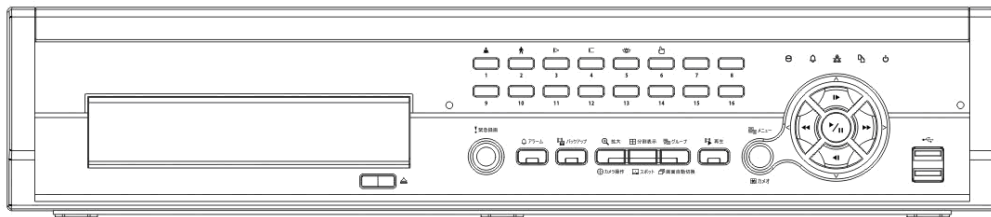


# 【1】 クイックインストールレーションガイド

## デジタルレコーダー

### SDRS-1640・SDRS-840



このたびは、デジタルレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本書は、主にデジタルレコーダーの設置について解説するクイックインストールレーションガイドです。

本製品の取扱説明書は、以下の Web からダウンロードしてご利用ください。

<http://www.selco.ne.jp/products/dvr.html>

本書とクイックオペレーションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

**【製品に関するお問い合わせ先】**

セルコ株式会社 カスタマサポート室

E-mail : support@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

## セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

AT-503-88

# ★設置の概要

## 1. アナログカメラの電源供給方式

アナログカメラとデジタルレコーダーの接続には、電源供給方法により、“電源重畳方式”と“電源別送方式”の2方式があります。互換はありませんので、環境に応じて正しく設置してください。

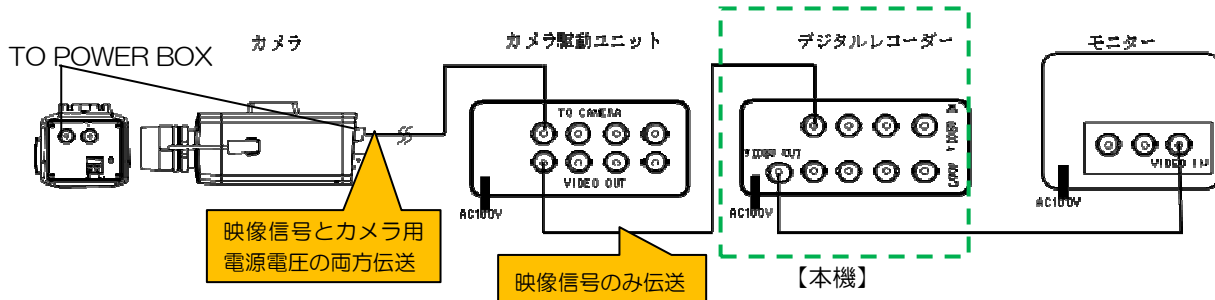
ご使用のカメラにより、以下の3種類のタイプがあります。

カメラタイプ	弊社カタログ表記
・電源重畳方式と電源別送方式の両方に対応したカメラ	電源重畳 電源別送
・電源重畳方式専用カメラ	電源重畳
・電源別送方式専用カメラ	電源別送

### ① 電源重畳方式の概要

カメラ電源を専用カメラ駆動ユニットから供給します。同軸ケーブル1本のみで対応しますので、カメラとカメラ駆動ユニットの間の同軸ケーブルには、電源と映像信号が重畳されて伝送されます。

TO POWER BOXなどと表記された[映像信号/電源重畳端子 (BNC)]に専用のカメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルを接続します。[電源端子]は使用しません。



#### 【使用上の注意】

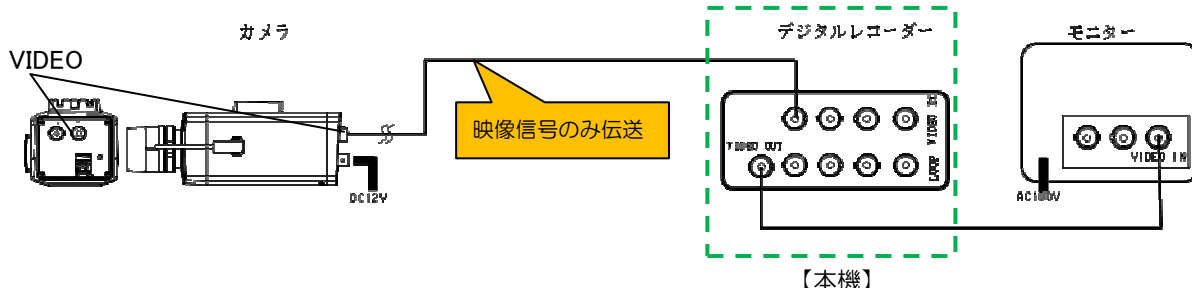
- ・カメラ駆動ユニットからの同軸ケーブルは、必ず“TO POWER BOX”などと表記された電源重畳カメラ端子に接続してください。誤って、“VIDEO”などと表記された映像出力端子に接続すると故障の原因となります。
- ・電源重畳と電源別送とは併用しないでください。故障の原因となります。
- ・使用するカメラによっては、供給電圧の違いによりカメラ駆動ユニットが異なります。誤って接続すると故障の原因になりますので、取扱説明書を参照いただき、正しく接続して下さい。

### ② 電源別送方式の概要

カメラ電源を電源アダプタを使って、供給します。カメラとデジタルレコーダーを直接接続し、この間の同軸ケーブルには、映像信号のみが伝送されます。(カメラ近傍に AC100V 電源の配線が必要です)

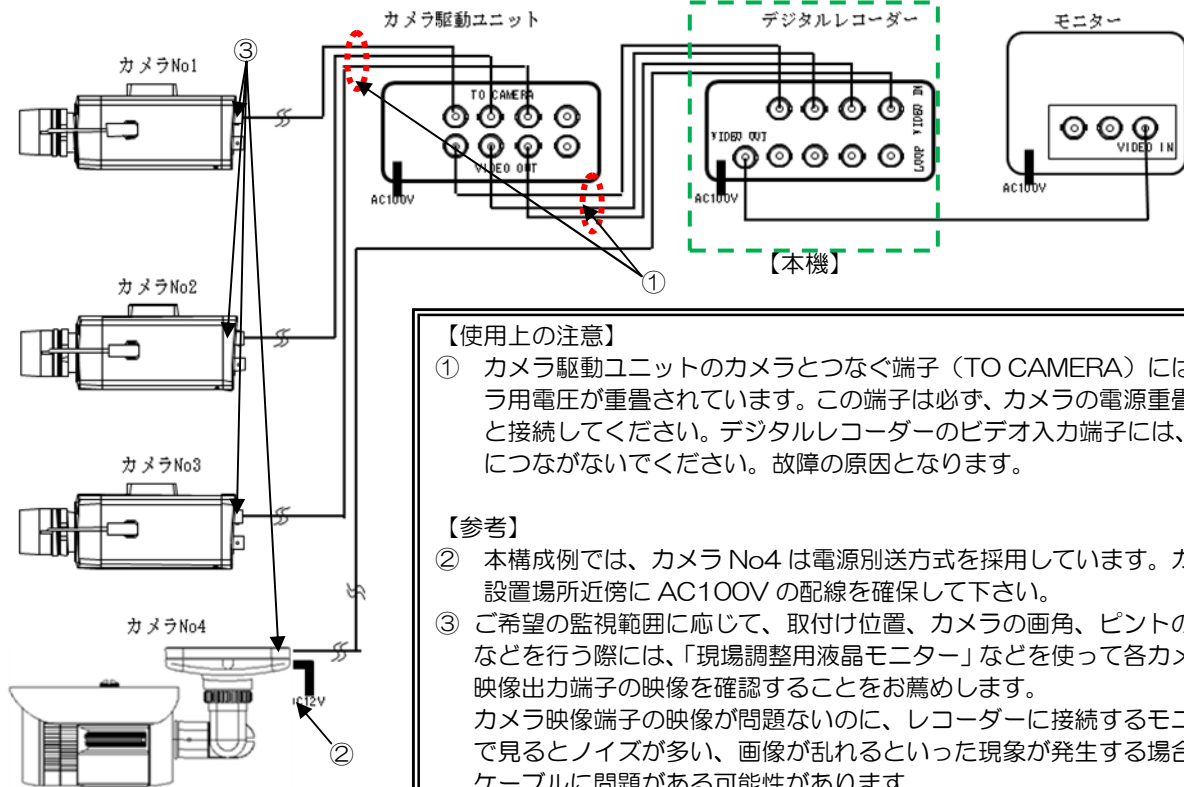
VIDEOなどと表記された[映像出力端子 (BNC)]に同軸ケーブルを接続します。同軸ケーブルからは映像信号が出力されます。

[電源端子]には、各カメラが規定する電源を接続します。(以下の図は、DC12V 時の例)



## 2. システム構成例

3台は電源重畳方式、1台は電源別送方式で、計4台のカメラを設置する場合のシステム構成例を以下に示します。



### 【使用上の注意】

- ① カメラ駆動ユニットのカメラとつなぐ端子（TO CAMERA）にはカメラ用電圧が重畳されています。この端子は必ず、カメラの電源重畳端子と接続してください。デジタルレコーダーのビデオ入力端子には、絶対につながないでください。故障の原因となります。

### 【参考】

- ② 本構成例では、カメラ No4 は電源別送方式を採用しています。カメラ設置場所近傍に AC100V の配線を確保して下さい。
- ③ ご希望の監視範囲に応じて、取付け位置、カメラの画角、ピントの調整などを行う際には、「現場調整用液晶モニター」などを使って各カメラの映像出力端子の映像を確認することをお薦めします。カメラ映像端子の映像が問題ないのに、レコーダーに接続するモニターで見るとノイズが多い、画像が乱れるといった現象が発生する場合は、ケーブルに問題がある可能性があります。

### 【参考】

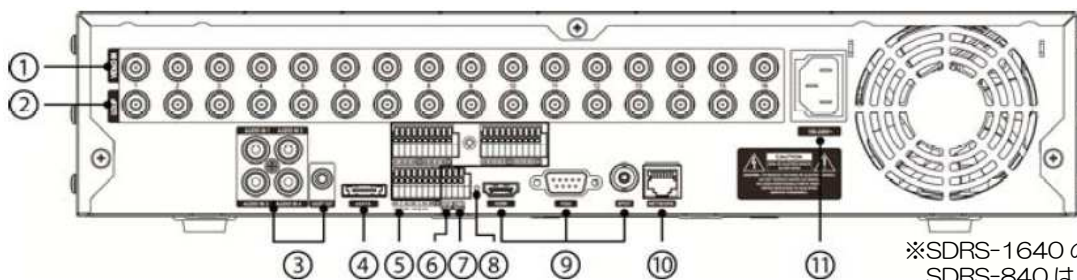
- ・ 設置する環境に応じて、カメラ取付け用のブラケットなどが必要になります。詳しくは、弊社カタログ、各製品に添付の取扱説明書をご参照下さい。

# ★設置方法

## 1. 各部の名称と説明

### 1) 背面パネル

背面パネルの端子配置と機能概要を以下に示します。

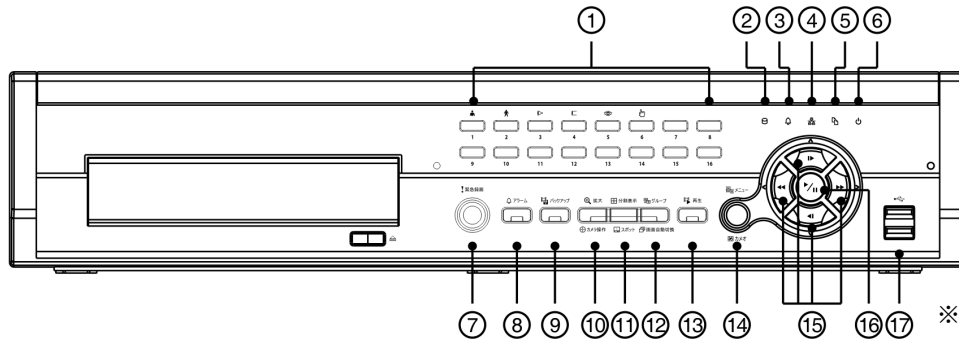


※SDRS-1640の背面パネル  
SDRS-840は、①、②及び⑤の端子数が  
8個となります。









名称	説明						
① ビデオ入力	BNC コネクタのカメラの入力端子です。(向かって左から Ch1~Ch16) <b>【注意】</b> 電源重畳方式のカメラシステムをご使用の場合、誤ってカメラ側へ接続するケーブルを接続しないでください。故障の原因となります。						
② ループスルー出力	ビデオ入力のループスルー出力端子です。(向かって左から Ch1~Ch16) <b>【参考】</b> ループスルーコネクタは自動的に終端します。終端されていないケーブルを接続するとビデオの画質が低下するため、その場合はケーブルをループスルーに接続しないでください。						
③ オーディオ入力/出力	音声入力 (RCA) の接続端子です。 <b>【参考】</b> 本機にはオーディオ出力アンプがないため、アンプとスピーカーを準備してください。オーディオ入力は複数のソースを接続できますが、内蔵アンプのないマイクの場合、直接接続すると正常に動作しません。その場合は別途プリアンプを経由してから接続してください。						
④ eSATA ポート	映像を保存するための外付けハードディスクを接続します。						
⑤ アラーム入力/出力	外部装置を利用してイベントが発生した場合に、デジタルレコーダーが反応するように信号を送ることができます。機械的、または電気的スイッチを AI (アラーム入力) と GND (グラウンド) コネクタに接続します。						
⑥ RS-485	RS-485 ポートは、PTZ (パン、チルト、ズーム) カメラ、外部機器 (電波タイマなど) を接続できます。外部機器の RX+ / TX+ を本機の P+ に、RX- / TX- を本機の M- に接続します。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>外部機器</th> <th>本機 (デジタルレコーダー)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>RX- / TX-</td> <td>→ M-</td> </tr> <tr> <td>RX+ / TX+</td> <td>→ P+</td> </tr> </tbody> </table> 合わせて、PTZ カメラの取扱説明書を参照してください。	外部機器	本機 (デジタルレコーダー)	RX- / TX-	→ M-	RX+ / TX+	→ P+
外部機器	本機 (デジタルレコーダー)						
RX- / TX-	→ M-						
RX+ / TX+	→ P+						
⑦ RS-232	RS-232 ポートは、遠隔制御キーボードを接続します。						
⑧ ファクトリーリセットスイッチ	装置背面の HDMI コネクタの左側にあるファクトリーリセットスイッチは、デジタルレコーダーを工場出荷時の初期設定に戻す場合に使用します。						
⑨ ビデオ出力	HDMI 出力 (HDMI コネクタ) : メイン映像出力端子です。 VGA 出力 (ミニ D-sub15 ピン) : メイン映像出力端子です。 <b>【参考】</b> HDMI 出力と VGA 出力は同じ映像が出力されます。 スポット出力 (コンポジットビデオ、BNC) : 設定により外部モニターにライブ映像の、フル画面、分割画面、画面自動切替、イベント発生時の連動表示が可能です。						
⑩ ネットワークポート	LAN、WAN など遠隔監視を行うためのネットワークポートです。イーサネットによってネットワークに接続できます。デジタルレコーダーのネットワークポートに RJ-45 プラグ付の LAN ケーブルを接続します。デジタルレコーダーはコンピュータとネットワーク上で接続され、遠隔監視や遠隔検索、遠隔制御や遠隔ソフトウェアアップグレードができます。						
⑪ 電源コネクタ	電源コードをデジタルレコーダーと電源コンセントに接続します。この装置には電源スイッチがないので、接続するとすぐに電源が入ります。 <b>【安全上の注意】</b> 正しい電源電圧 (交流 100V) で使用してください。また配線器具の定格を超えたり、たこ足配線などを行わないでください。 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。 電源ケーブルが傷んだ場合は、すぐに使用をやめてください。						






## 2) 前面パネルボタン

前面パネルのボタン配置と機能概要を以下に示します。



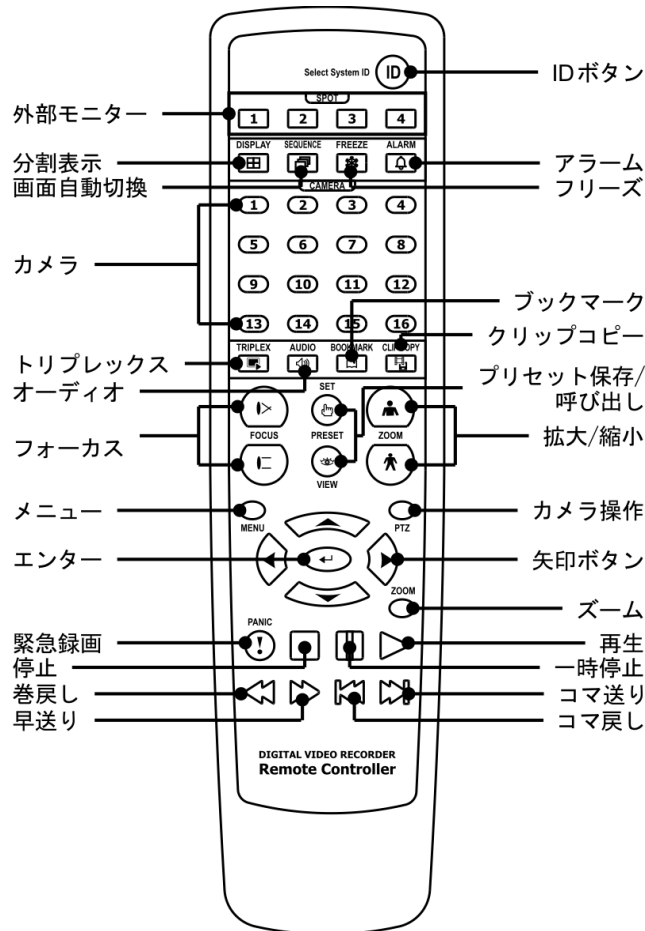
※SDRS-1640の前面図  
SDRS-840は、①のボタン数が  
8個となります。

ボタン名	説明
① カメラ番号ボタン 	ライブ監視モードや再生（検索）モードでカメラ番号ボタンを押すと、当該カメラの映像をフル画面で表示します。 また、パスワードを入力する場合、1 から9 のカメラ番号ボタンを利用して入力できます。 PTZ モードでカメラ番号 (1) ボタンは画面拡大、カメラ番号 (2) ボタンは画面の縮小、カメラ番号 (3) ボタンは近距離焦点、カメラ番号 (4) ボタンは遠距離焦点、カメラ番号 (5) ボタンは保存されたプリセットに移動、カメラ番号 (6) ボタンはプリセット保存ボタンとして使用されます。
② ハードディスクLED 	ハードディスクに映像を保存するか、保存された映像を検索する場合、ハードディスク LED が点滅します。
③ アラーム出力LED 	アラーム出力が動作している間、アラーム出力LED が点灯します。
④ ネットワークLED 	ネットワークに接続していると、ネットワークLED が点滅します。
⑤ バックアップLED 	バックアップが行われている間、バックアップLED が点灯します。
⑥ 電源LED 	本機が作動している間、電源LED が点灯します。
⑦ 緊急録画ボタン 	緊急録画ボタンを押すと、  アイコンが表示されて、現在のスケジュールに関係なく映像を録画します。ボタンをもう一度押すと緊急録画が解除されます。
⑧ アラームボタン 	アラームボタンは、アラームが作動している時に内部ブザーを含むデジタルレコーダーの出力をリセットしたり、ライブ監視モードまたは再生（検索）モードで、アラームが発生していない場合にイベントログを表示します。
⑨ バックアップボタン 	CD-R (RW)、DVD-R (RW)、USB フラッシュメモリなどに録画映像をコピー（クリップコピー）します。
⑩ 拡大 / カメラ操作ボタン 	拡大 / カメラ操作ボタンを押すと拡大モードに入ります。拡大するカメラは選択窓で選択します。拡大モードのときにこのボタンを押すと拡大モードが終了します。  PTZ/ZOOM ボタンを3秒以上押すとPTZモードに入り、  アイコンが点滅します。PTZモードのときにこのボタンを押すとPTZモードが終了します。
⑪ 分割表示/スポットボタン 	分割表示/スポットボタンを押すとPP→4分割画面→6分割画面→8分割画面→9分割画面→16分割画面（SDRS-1640のみ）に変わります。  分割表示/スポットボタンを3秒以上押すと外部モニターに出力されるカメラを選択することが出来ます。
⑫ グループ/画面自動切替ボタン 	グループ/画面自動切替ボタンを押すと、現在の画面のグループから次の画面グループに移動し、ページ番号が画面に表示されます。 ライブ監視モードでグループ/画面自動切替ボタンを3秒以上押すと、画面自動切替表示になります。
⑬ 再生モードボタン 	再生モードボタンを押すと、再生（検索）モードになり、再びボタンを押すと再生（検索）モードから抜け出ます。再生（検索）モードに入るとビデオは一時停止され、  ボタンを押すと通常スピードで再生します。 一時停止では画面に  が、再生中には画面に  が表示されます。 分割表示で再生モードボタンを押すとライブ監視モードで特定のチャンネルの映像を再生できるトリプレックス再生モードを選択することができます。

⑭	メニュー/カメラボタン   図 カメオ	メニュー/カメラボタンを押すと、ライブ監視モードで押すとライブ監視メニューが、再生（検索）モードで押すと再生（検索）メニューが画面の右側に表示されます。 設定画面などでキャンセルボタンとして使用できます。 メニュー/カメラボタンを3秒以上押すと、グループ編集モードになります。 画面グループ編集モードになると、選択されたカメラに黄色の枠ができ、矢印ボタンを利用してカメラの選択を変更することができます。カメラを選択してから表示したいカメラ番号のボタンを押すと選ばれたカメラの映像を該当カメラに割り当てます。 ⑮ ボタンを押し、画面グループ編集モードを終了します。あるいはメニュー/カメラボタンを押し、カメラメニューが表示されたら「グループ編集終了」を選んでグループ編集モードを終了します。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【参考】</p> <p>カメラとは分割画面での各カメラの映像を表示した各々の画面のことです。</p> <p>カメラモードからカメラ映像を任意の位置に配置し、カメラグループを編集することができます。</p> </div>
⑮	矢印ボタン 	再生（検索）モードで、◀▶ ボタンを押すと高速逆再生します ◀▶ ボタンを押すたびに再生→高速逆再生（◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀）に切り替わります。 （画面上に ◀◀、◀◀◀、◀◀◀◀ がそれぞれ表示されます。） 再生（検索）モードで、▶▶ ボタンを押すと高速再生します。 ▶▶ ボタンを押すたびに再生→高速再生（▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶）に切り替わります。 （画面上に ▶▶、▶▶▶、▶▶▶▶ がそれぞれ表示されます。） 一時停止状態から ▶▶ ボタンを押すと正方向に1コマずつ、◀▶ ボタンを押すと逆方向に1コマずつ映像を表示します。
⑯	再生/一時停止/エンター* ボタン  (*メニュー時エンターボタン)	ライブ監視モードで⑮ボタンを押すと監視画面を一時停止させて、画面上には  アイコンが表示されます。 再生（検索）モードではこのボタンを押すたびに、再生と一時停止を切換えます。 メニューの設定時、項目を選択するか入力事項を決定する場合に使用します。
⑰	USBポート	USBマウスの接続が可能です。 USBフラッシュメモリや外付けハードディスクへ録画データをバックアップすることができます。

### 3) リモコンボタン

リモコンのボタン配置と機能概要を以下に示します。





ボタン名	説明
ID ボタン	<b>ID</b> ボタンとカメラボタンを操作して、リモコン操作するデジタルレコーダーを決めます。デジタルレコーダーのシステム ID が 0 の場合は、ID ボタン操作しなくてもリモコン操作できます。 システム ID が 1~16 の場合には、 <b>ID</b> ボタンを押して、 <b>カメラ</b> ボタンの 1~16 の該当するボタンを押すとデジタルレコーダーの操作が可能になります。複数のシステム ID が 0 の場合には、リモコン操作すると同時に複数のデジタルレコーダーが操作されます。
SPOT (外部モニター)	スポットモニターに表示されるカメラチャンネルを、リストから選択できます。(本機のスポット出力は 1ch のみなので、2~4 のボタンは使用しません。)
DISPLAY (分割表示)	画面分割のスタイルを切替えます。ボタンを押すと PIP→4 分割画面→6 分割画面→8 分割画面→9 分割画面→16 分割画面 (SDRS-1640 のみ) に変わります。
SEQUENCE (画像自動切換)	ライブ監視モードで <b>SEQUENCE</b> ボタンを押すと、画面自動切換表示になります。
FREEZE (フリーズ)	ライブ映像を一時停止表示します。
ALARM (アラーム)	<b>ALARM</b> ボタンは、アラームが動作している時に内部ブザーを含むデジタルレコーダーの出力をリセットします。ライブ映像モード又は再生 (検索) モードでアラームが発生していない場合にイベントログを表示します。
カメラボタン	ライブ監視モードや再生 (検索) モードで <b>カメラ</b> ボタンを押すと、当該カメラの映像を選択しているモニターにフル画面で表示します。また、パスワードを入力する場合、1~9 の <b>カメラ</b> ボタンを使用して入力します。
TRIPLEX (トリプレックス)	トリプレックス再生モードに切替えます。
AUDIO (オーディオ)	オーディオ出力のオン/オフを切替えます。
BOOKMARK (ブックマーク)	再生 (検索) モードで <b>BOOKMARK</b> ボタンを押すと、ブックマークウィンドウが表示されます。現再生時点をブックマークに追加したり、ブックマークに登録された再生時点に移動します。なお、登録されたブックマークでも録画データが上書きされると再生できません。
CLIP COPY (クリップコピー)	<b>CLIP COPY</b> ボタンを押すと、バックアップ動作を行い、録画映像の保存ができます。
FOCUS (フォーカス)	PTZ モードで <b>近/遠距離焦点</b> ボタンとして使用します。
PRESET (保存/呼び出し)	SET PTZ モードでプリセット保存に使用します。 VIEW PTZ モードでプリセットを呼び出すのに使用します。
ZOOM (拡大/縮小)	PTZ モードで拡大 (ズームイン) / 縮小 (ズームアウト) に使用します。
MENU (メニュー)	<b>MENU</b> ボタンを押すと、ライブ監視モードではライブ監視メニューが、再生 (検索) モードでは、再生 (検索) メニューが表示されます。設定画面などで、キャンセルボタンとして使用できます。
PTZ (カメラ操作)	<b>PTZ</b> ボタンを押すと、PTZ モードになり、設定された PTZ カメラを制御します。
<b>↵</b> (エンター)	<b>エンター</b> ボタンは項目を選択したり、入力事項を決定します。
矢印ボタン	<b>矢印</b> ボタンは、各メニュー設定と画面上で移動するために使用します。設定メニューでは、上/下 <b>矢印</b> ボタンで設定数値の増減を行います。また、PTZ モードでは上下左右の移動ができます。
ZOOM (ズーム)	<b>ZOOM</b> ボタンは画面の特定部分を拡大して表示します。 <b>矢印</b> ボタンで拡大画面の画面を移動させることができます。
PANIC (緊急録画)	<b>PANIC</b> ボタンを押すと、 <b>!</b> アイコンが表示されて設定されたスケジュールに関係なく映像を録画します。ボタンをもう一度押すと緊急録画が解除されます。
停止	再生 (検索) モードで映像を再生中の場合、 <b>停止</b> ボタンを押すとライブ映像に戻ります。
一時停止	再生 (検索) モードで映像を再生中の場合、 <b>一時停止</b> ボタンを押すと再生映像が一時停止します。
再生	ライブ監視モードで <b>再生</b> ボタンを押すと、再生 (検索) モードに切り替わります。 再生 (検索) モードで <b>再生</b> ボタンを押すと、映像が再生されます。
巻戻し	再生 (検索) モードで、 <b>⏮</b> ボタンを押すと高速逆再生されます。 <b>⏮</b> ボタンを押すたびに再生→高速逆再生 ( <b>⏮</b> 、 <b>⏮⏮</b> 、 <b>⏮⏮⏮</b> ) に切り替わります。
早送り	再生 (検索) モードで、 <b>⏭</b> ボタンを押すと高速再生します。 <b>⏭</b> ボタンを押すたびに再生→高速再生 ( <b>⏭</b> 、 <b>⏭⏭</b> 、 <b>⏭⏭⏭</b> ) に切り替わります。
コマ送り	再生 (検索) モード一時停止状態で <b>コマ送り</b> ボタンを押すと、正方向に 1 コマずつ映像を表示します。
コマ戻し	再生 (検索) モード一時停止状態で <b>コマ戻し</b> ボタンを押すと、逆方向に 1 コマずつ映像を表示します。

※本機は、前面パネル、リモコンに加えて、USB ポートに接続する USB マウスを使って操作することもできます。

## 2. 配線接続と映像出力確認

「2. システム構成例」(3 ページ) の 4 台のカメラ構成の場合の手順を以下に示します。

- ① 必要に応じて、アラーム入力/出力やオーディオ入力/出力などの接続をします。
- ② カメラ No1～No3 はカメラ駆動ユニットの VIDEO OUT 端子と本機の VIDEO IN1～3 を BNC ケーブルで接続します。
- ③ カメラ No4 は、カメラ設置箇所付近で AC アダプタを使って電源を供給し、カメラからの映像出力を直接、本機の VIDEO IN4 に接続します。
- ④ 本機のビデオ出力 (HDMI 端子もしくは VGA 端子) を対応するケーブルを使ってモニターのビデオ入力端子に接続します。
- ⑤ デジタルレコーダーに付属の電源コードを接続します。(電源スイッチはありません。自動的に起動し、録画を開始します。)
- ⑥ 接続していないカメラ入力端子がある為、アラーム音が鳴るので、**アラーム** ボタンを押して、ログインし、止めてください。  
(初期状態は、ユーザー名 “admin”、パスワードはなしとなっております)
- ⑦ 前面パネルの 1, 2, 3, 4 の**カメラ番号** ボタンを押して、各カメラの映像 (設定した場合、音声も) が正常に表示されることを確認します。

### 【参考】

- 映像入力のないチャンネルはカメラ使用設定を Off することをお勧めします。再起動時などに映像信号なしと判断され、アラーム音が鳴ります。(参照：クイックオペレーションガイド：3 ページ「カメラ設定」)
- 本機は、電源コードを挿すと自動的に起動し、録画を開始します。録画中に電源コードを抜かないでください。
- 本機を終了するには、**MENU** ボタンを押して、「システム」→「システム終了」を選択します。  
(参照：クイックオペレーションガイド：2 ページ「起動/終了」)

## ★クイックオペレーションガイド、取扱説明書

本機の基本的な操作方法は付属のクイックオペレーションガイドをご参照ください。また、本機でサポートする各種機能、メニュー構成などは、取扱説明書に記載されております。

取扱説明書は、表紙に記載の Web からダウンロードしてお使いください。